



宮本 宏樹 (40分) 公明党

水道スマートメーターは

導入の考えは。

答 離島や集合住宅等での検針業務の効率化、宅地内の漏水の早期発見などが期待できる一方、費用が高額になるなどの課題もある。

導入事例の多くが実証実験の段階であるが、今後、市場の活性化や技術革新による価格の低減で順

次普及が見込まれ、高齢者の見守りサービスなど他事業への展開も期待される。先進事例や普及状況を参考に導入の可能性を見極める。

自転車保険は

加入の促進は。

答 国は、都道府県および政令指定都市に対し加入を義務付ける条例の制定を要請し、県は条例化に向けての議論を行っている。

本市としては、当面、交通安全運動や出前講座などで必要性や内容を説明し、啓発に努める。



野村志津江 (45分) 公明党

新型コロナワクチン接種は

訪問接種、職域接種は。

答 在宅療養者などへの接種は訪問診療や往診を行っているかかりつけ医による接種を基本的に考えている。現在、医師会と具体的な計画を検討している。

職域接種は、国への申請受け付けが始まり、複数の市内企業が申



皿谷久美子 (45分) 公明党

生理の貧困は

①実態の認識は。

②どう支援するか。

答 ①女性特有の課題であり、声も上げにくいことから、これまで大きく取り上げられなかった。コロナ禍で経済的、精神的に不安を抱える女性の孤独、孤立が課題とされる中で顕在化してきたもの

と考える。

②生活に困窮している方に対しては、これまでも窓口での相談だけでなく、必要に応じて栄養食品やマスクを配布してきた。

このたび、これらに生理用品も加え緊急的なニーズに対応する。

併せて、こうした対応が一時的なものとならないよう、引き続き生活困窮者自立支援センターと連携し適切な支援につなげる。今後、「地域女性活躍推進交付金」の活用も含め、必要な人に必要な支援が届けられるよう、さらなる支援に努める。



小林 聡勇 (45分) 公明党

ヤングケアラーの実態把握は

本市の取り組みは。

答 各学校において、毎日の健康観察、授業、休憩時間、いじめ等アンケート、児童生徒対象の面談、相談窓口での相談等さまざまな機会を通し、児童生徒の小さな変化を見逃さないよう努めている。また、長期欠席や不登校傾向の児

請している。今後、企業、商工団体や大学と連携し促進に取り組む。

不妊治療は

仕事と治療の両立支援は。

答 仕事と家庭の両立支援に取り組む事業者を認定する「ふくやまワークライフ・バランス認定制度」の認定基準を見直し、「妊娠における従業員に対する配慮を行っている」の項目に、「不妊治療休暇」を加えた。引き続き、認定事業者拡大、県と連携した両立支援セミナーでの啓発などに取り組む。

子ども関連の相談支援は

国の動向と本市の考えは。

答 現在、国において子供に関する施策を総合的に推進するため組織の創設が検討されている。県内他都市に先駆けて創設した「福山ネウボラ」は、これからの子育て施策の中核となる理念である。妊娠からの切れ目のない支援に総合的に取り組む。

※水道スマートメーター：検針員が指針値を見に行かなくても、通信により遠隔から水道の利用状況を把握し、使用水量を自動検針できる水道メーター

※ヤングケアラー：一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている、18歳未満の子ども